

なにが秘密か？—それも“秘密”です

国民の知る権利、表現の自由奪う 秘密保護法案

安倍政権が今の国会で成立を狙う特定秘密保護法案。「外交や防衛の話では…」と思ったら大マチガイ。国民の知る権利、表現・報道の自由を奪う希代の悪法です。

日本共産党

ネットを見てたら 突然逮捕?!



首相や外相、防衛相や警察庁長官など「行政機関の長」が、「これは秘密」と決めたら、どんな情報も、国民の目から隠されてしまいます。しかも、内閣の承認があれば、事実上永久に秘密のままにできるということです。

おそろしいのは、「これは秘密ですよ」と国民には知らされないこと。ネットを見ていて、知らないうちに秘密情報にふれていて、ある日突然逮捕ということも…。こんなことは絶対に許せません。



情報公開を もとめたら 処罰?!



「秘密」をもつ人から情報提供をうけたらダメ。たとえ提供されなくても、そそのかした罪に…。ジャーナリストの取材も処罰の対象になります。政府が「配慮する」といっても、メディアは萎縮し、国民は真実を知る手段を失ってしまいます。

原発情報もマル秘に?!



たとえば福島原発事故。「原発をテロから守る」という口実で、汚染水がどこでもれたかも秘密になりえます。内閣情報調査室も「特定秘密になりうる」とハッキリ認めています。

3・11直後、国は、放射性物質の拡散データを国民に隠しました。いまでも“秘密天国”なのに、このうえ秘密保護法などできたら、国民の目と耳は、完全にふさがれてしまいます。

国会議員も 懲役10年?!



「秘密」をもらした者は、懲役10年です。国会議員も5年の刑です。所属する党にもちかえて議論することもできません。国会を政府の下におき、独裁政治への道をひらく法案は、廃案しかありません。

ねらいは
どこに?

海外で戦争できる 国にするためです

安倍首相は「特定秘密保護法案」について、オバマ大統領との会談で「日米同盟の強化を見据えたもの」と説明。この法案の狙いは、情報を国民に知らせず世論を誘導して、日本を「アメリカと一緒に戦争できる国」にすることです。



憲法9条を生かした平和日本を！あちよー！
日本共産党カクサン部！憲法担当ボーケン師匠